

まちのわだい

Town Topics

日米大学野球選手権大会で活躍誓う

侍ジャパン大学日本代表「大山悠輔選手」表敬訪問 6月27日

7月12日から開催される「第40回日米大学野球選手権大会」。侍ジャパン大学日本代表に選出された下妻市出身の大山悠輔選手（白鷗大4年）が稲葉市長を表敬訪問しました。

右のスラッガー・大山選手は身長181cm、体重84kg。侍ジャパンでは背番号8を付け、内野手（三塁手）で登録。大学日本代表の横井人輝監督（東海大学）からは「クリーンアップを任せたい」と期待されています。

野球は小学1年生から始めたと話す大山選手。宗道ニューモンキーズ（宗道小）、千代川中、つくば秀英高では投手としても140km/hを超えるストレートを投げて活躍しましたが、白鷗大では野手に専念しています。

稲葉市長は「下妻市で野球をする子どもたちの憧れの的。日本代表に選ばれたことが最終目的ではなく、グラウンドで花を咲かせてほしい」と激励し、大山選手は「日本代表に選ばれたことに満足せず、1段階も2段階もレベルアップしていきたい。日本代表として恥ずかしくないプレーをして、勝ちにこだわっていきたい」と力強く抱負を語りました。

■全5試合
7月12日（火）、13日（水）
HARD OFF ECOスタジアム新潟（新潟）
7月15日（金）明治神宮野球場（東京）
7月16日（土）、17日（日）草薙球場（静岡）



活躍を期待して握手を交す大山選手（左）と稲葉市長（右）

子育ての楽しさと難しさ共有

親子まつり 6月5日

下妻母親クラブが主催する「親子まつり」が市福祉センター「砂沼荘」で開催され、市内の親子連れなどでにぎわいました。同クラブは、子育ての楽しさや難しさをみんなで分かち合いたいと、「子育て中の母親による、子育て中の母親のための活動」を日々行っており、今年で設立から10年を迎えています。

館内のイベントでは、バルーンアートや演劇などで親子一緒に楽しんだり、グループディスカッションで「私たちにできる子育ての支援」などをテーマに子育て環境の充実を目指した検討がされたりとメニューが盛りだくさん。芝生の庭ではマルシェが開かれ、ランチやデザート、小物のショッピングを楽しむ姿も見られました。

オープニングセレモニーで橋本美香会長は「子どもたちがクラブに行きたい。ママたちもリフレッシュに行こうって思えるようなクラブを目指し、活発に活動していきたい」と抱負を語りました。



バルーンアートで元気に遊ぶ子どもたち



大宝駅からスタートする参加者一行

下妻の歴史的街並み再発見

第4回下妻街並みウォーキング 6月19日

下妻の歴史や文化などの観光ガイド活動を行っている「下妻いいとこ案内人の会」が主催する、下妻の知られざる名所を巡るウォーキングが行われました。

今回は、大宝八幡宮と周辺の街並みをウォーキングするために午前9時30分、10時30分、午後1時の3回に分けて計54人が市内外から参加しました。

歩くコースは、関東鉄道常総線の大宝駅からスタート。大宝沼跡地、大宝城跡、三吉稲荷、流鏑馬神事で実際に馬が走るコースや流鏑馬的、大宝八幡宮では、本殿やあじさい神苑、鐘楼などを約90分かけて巡りました。

市内60代男性からは「古い時代の話聞き、歴史の深さを知れて楽しかった。もっとたくさんの方に知って欲しい」と話が聞けました。

田植え体験を通して「食」を学ぶ

都市農村交流事業・農業体験 6月5日

「食のありがたさ」を学ぶ機会に、田植えを体験しようと、東京都中央区の泰明小学校から親子80人が市内二本紀の田んぼを訪れ、総上小学校の親子20人と一緒に田植えや下妻の食材を生かしたバーベキューを楽しみました。両校のPTAは、昨年の農業体験をきっかけに交流が始まり、東京で餅つき大会を行うなど、都市間交流が深まっています。

泰明小学校の子どもたちは、泥まみれの姿で「植えるのが大変」と言いながらも「またやりたい」と満面の笑顔。30代の母親からは「子どもたちが生き生きと田植えをしたり、虫やカエルを捕まえたりする姿に感動した。貴重な体験でありがたい」と感謝の言葉がありました。



横一列で一斉に苗を植える参加者たち

おいしいさつまいもができるまで

さつまいも定植大会 6月12日

5月に50万本のポピーを咲かせた鬼怒フラワーライン（鬼怒川大形橋上流左岸河川敷）で、花と一万人の会が主催する「さつまいも定植大会」が行われました。

青龍楽校少年団や花万ジュニアスタッフ、市内小学生の親子など約80人が参加。花畑の一部に約1,200本のさつまいもの苗を植えました。

今回植えた苗は、食味がよく甘味が強いベニアズマとムラサキイモの2種類。育てられたさつまいもは、毎年10月に行われるポピーの種まきの時に掘り起こして試食し、ムラサキイモは加工されポピー大福になる予定。

祖母と2人で参加した小学3年生の羽賀天愛ちゃんは「植えた苗でおいしいさつまいもができるのが楽しみ」と丁寧に苗を植えていました。



さつまいもの苗を植える参加者

白熱取組、小学生力士

第6回わんぱく相撲下妻場所 6月11日

大宝八幡宮の相撲場で、「わんぱく相撲下妻場所」が開催され、下妻市・八千代町近隣から集まった小学生力士80人が白熱した取組を展開しました。相撲を通じて子どもたちが心身の鍛錬と健康の増進を図ることを目的に下妻青年会議所が主催。今回で6回目を迎えました。

個人戦では、4～6人で予選リーグを行い、上位者は決勝トーナメントで最終順位を決定。団体戦は、学校対抗のトーナメントで5チームが参加しました。

4年生の部で準優勝した岡田悠希くん（大宝小）は「優勝できなくて悔しかったけど、県大会では優勝目指して頑張る」と意気込みを語りました。



狙いを付けて打ち放つゲートボールの選手

スポーツ大会で交流広げ全力プレー

ねりんんスポーツ下妻大会2016 6月8日

高齢者が競技を楽しみながら健康増進を図る「ねりんんスポーツ下妻大会」が、ほっとランド・きぬと鎌庭地区ゲートボール場で開催され、市内の各老人クラブから150人が参加しました。住み慣れた地域でいつまでも元気に楽しく過ごせるよう、健康づくり事業や清掃などの社会貢献事業を行っている下妻市老人クラブ連合会が主催しました。

すがすがしい青空のもと、白熱した戦いが続いた3種目では、「グラウンドゴルフ」で上妻南ながいきクラブの須藤常夫さん、「輪投げ」で大木長寿会チーム、「ゲートボール」で鎌庭チームがそれぞれ優勝をつかみました。

ゲートボールで2年連続優勝を果たした鎌庭チームの80代女性は「ゲートボールやシルバリーハビリ体操など、意識して体を動かすようにしている。みんなで集まっておしゃべりするも楽しい」と笑顔で健康の秘訣を話してくれました。